

## 令和4年(2022)9月 『水辺のすすめ』

一宮町は、上流域から海まで、生物で溢れる何とも頼もしい“水辺”に恵まれています。自転車で走ると、そんな一宮の水辺の魅力が楽しめます。

7月、エサ取り中のダイサギ、アオサギを見ながら田園地帯を抜け、海まで行くと、一宮町地曳き網保存会の音頭で、多くの方が地曳き網を引いていました。イワシ、サバ、アジ、カマス、エビ、カニからエイ、サメまで、実に多様な魚がとれて、普段は見えにくい、海の生物の豊かさを実感できました。

8月、上流の、憩いの森と洞庭湖の間の松子川に行くと、ジョロウグモの亜成体が、水面の上に美しい網を張っていました。きっと、沢山の餌が捕れる場所なのでしょう。

最近ネイチャークラブでは、小学生によるネイチャーキッズも川の調査に活躍中です。みなさんも、この豊かな“水辺”と一緒に楽しみませんか？

### <問合せ先>

増田 090-8045-0606 小池 070-4027-7098

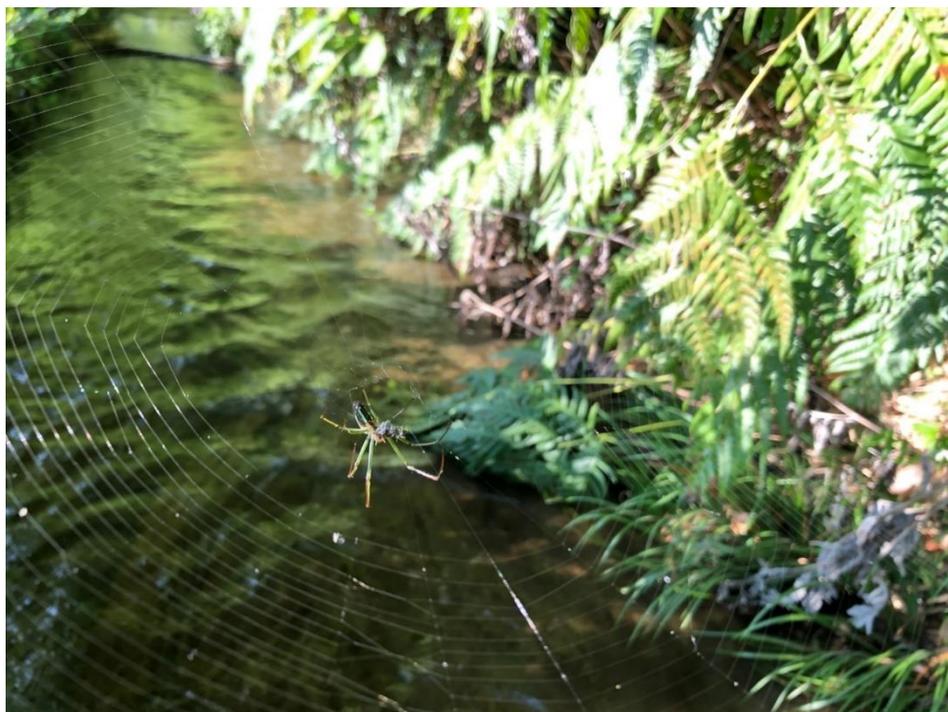
Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中



▲地曳き網 2022 7.17 朝 新浜海岸

(茂原商工会議所主催、一宮小・東浪見小 1~3 年希望参加)



▲ジョロウグモの垂成体 2022 8.3 朝 松子川にて